

キャラ画像1枚から、動くLINEスタンプへ

AI制作スキルを無料公開【テスト版】 / 全体の流れ

自分のキャラクターを使って AIと相談しながら制作。

アイペンちゃんの基本イラストを見本に、
導入・制作・登録の順序を図解しました。



導入・準備

1

ZIPをCodexに渡す。
PCに合わせて導入し、
制作フォルダーを用意。



デザインを確定

2

画像を添付、または新規制作。
最初に顔・体形・色・画風を
しっかり決める。



スタンプを制作

3

8・16・24個の案を決定。
文字と動きを確認し、
代表作から全点へ進む。



登録・人が申請

4

AIが入力・保存。
人が内容を確認し、
リクエストをクリック。

まず確認：権利・使用量・利用環境

使用权のある素材を使う。制作ではトークン・利用枠を消費します。Windows版Codex、画像生成、ブラウザー操作が利用できる環境を確認してください。

テスト版です。完成品質・審査通過・売上は保証しません。見本の掲載はアイペンの自由な改変・販売許可を意味しません。

01 ZIPを渡して、導入を依頼

初心者向けのおすすめ / 添付だけではインストールされません



ダウンロードしたZIPをCodexへ

1

新しいチャットの入力欄へドラッグ。ファイル名の添付表示を確認してから、下の文章を送信します。



そのまま使える依頼文

「このPCに合わせてインストールしてください。添付ZIPの内容を確認し、必要な環境を準備してください。既存版はバックアップし、導入結果を確認してください。LINEへの登録・審査申請はしないでください。」



添付できない場合

ZIPを「すべて展開」。
展開フォルダーをCodexで
開き、同じ依頼を送信。

許可を求められたら
対象と理由を確認します。



手動でも導入可能

1. ZIPをすべて展開
2. install.cmdを実行
3. Python 3.10以降を用意
4. setup-python.cmdを実行

Pillow readyが完了の目安。

制作物はデスクトップへ

new-project.cmdで商品名を入力すると「デスクトップ → LINEスタンプ制作 → 商品名_日付」に案件が作られます。既定は24個。8・16個への変更は制作前にCodexへ依頼。

Codexは各ChatGPTプランに含まれますが、機能・上限・提供状況は異なります。Freeでは画像生成が利用できません。画像生成が使える環境、または準備済み原画が必要です。[1]

02 最初のキャラクターを作る

基本デザインを先に決めると、後のやり直しを減らせます



元の画像がある

顔と全身が分かる
鮮明な基本画像を添付。
使用権を確認して使います。



元の画像がない

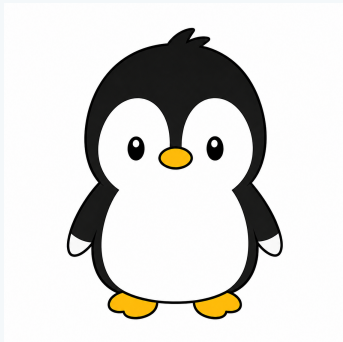
動物・人物、性格、色、
体形、服、画風を伝え、
候補から基準を決めます。

指示を整理するなら：画像生成プロンプトメーカー

ai-work-tips.com/prompt-maker/image/

作りたい特徴を整理し、指示文を画像生成AIへ渡す補助として使えます。リンク先の具体的な操作は本ガイドでは未確認です。

画像づくりの順序



特徴を整理 → 指示文を作る → 基本画像を生成
→ 見た目を確認 → デザイン確定

正面・全身・シンプルな背景から始めると、
顔や体形の確認がしやすくなります。

「3D風にして」などの変更も可能

「このキャラクターを丸いソフビ人形のような3D風に。顔・配色・体形は保ち、まず正面1枚だけ見せてください。」

3D風イラストと、編集可能な3Dモデルは別です。

最重要：動きを作った後の顔・体形・画風の変更は、原画と動作の作り直しにつながります。最初のデザインを固めることが、仕上がりで時間・トークンの節約に役立ちます。

03 代表作を確認して、全点制作

メッセージ・向き・動き・文字と一緒に決めます



8・16・24個の一覧を決める

1

「やさしい敬語」「仕事向け」などの方針を伝える。文言、表情、動き、使用場面を一覧で確認。半自動も、決めた方針内で進めます。



必要な向きと文字方針を決める

2

正面・左右・背面などのテンプレートを用意。書体、色、縁取り、改行、表示タイミングを決め、原画と文字を別工程で合成。



代表作を試す → 確認後に全点制作

3

長文、方向変化、大きな動きなどを先に確認。動きの開始・途中・終了を見て、問題があれば全点制作の前に修正。

完成品チェック

- ☐ 誤字・文字欠けなし ☐ 顔・手足・服が途中で崩れない
- ☐ 明暗背景で読める ☐ 先頭の静止画像でも意味が分かる
- ☐ 全点の動作を確認 ☐ 容量・寸法・時間の検査に合格 [2]

使用量を抑える進め方

利用可能ならGPT-6.1 Sol・推論「軽」から。通常の企画・制作指示・確認には十分な結果が期待できる目安です。画像生成の画質設定とは別。修正は「03の文字だけ」など対象を絞ります。

04 AIが登録、人がリクエスト

開始前のログインと、操作の受け渡しを忘れずに



人：Creators Marketへログイン

1

AIが操作するブラウザでログイン。パスワード・認証コードは人が入力し、チャットや制作ファイルには保存しません。



AI：タイトル・説明・画像等を入力して保存

2

対応ツールでタイトル、説明、メイン・タブ・スタンプ画像、タグを入力。価格・地域・コピーライト等を確認し、編集集中で保存・読み戻し。



人：保存内容を確認し、リクエストをクリック

3

商品ID、文言、全画像・タグ、価格、地域等を確認。AIの操作終了後、人がリクエストを押し、確認画面と申請状態も確かめます。

登録開始時に必ず伝える

「編集集中で保存し、保存内容を見せてください。リクエストボタンは押さず、確認後に私が手でクリックします。」

作業中のブラウザには触らない

止まって見えてもローカル処理中の場合があります。まず待ち、長く変化がなければCodexへ状況を質問。AI操作中はクリック・入力・更新・タブ切替をしないでください。

申請受理 ≠ 審査通過 ≠ 販売開始。各状態を確認して進めます。

ZIPの中身・利用条件・困ったとき

無料テスト版 / 詳しい操作は同梱の8ページマニュアルへ



ZIPの中身

図解ガイド・操作マニュアル
install.cmd : スキル導入
setup-python.cmd : 環境準備
new-project.cmd : 案件作成
スキル本体・手順・補助ツール
※Python・フォントは別途準備



困ったらCodexへ

「〇〇の手順で止まりました。
表示は〇〇です。このPCを
確認して次の操作を教えてください」

記事コメントで不具合報告。
個人情報・認証情報は載せない。

権利と利用条件

キャラクター・写真・人物・ロゴ・フォントの権利と利用条件を確認。[3]

自分の制作に使う設定変更・改編は可能。パッケージ・同梱物の無断再配布・公開・販売は禁止（改編版を含む）。制作した成果物にはこの配布制限を適用しません。第三者ソフトは各ライセンスに従います。

テスト版の確認範囲・免責

このWindows PCで導入、Python準備、テスト画像の合成・APNG検査・ZIP作成を確認。別PCや実商品のLINE登録・申請までの動作は未確認。動作・品質・審査通過・売上は保証しません。案件全体をバックアップしてください。

今後、テストと改良を行い、有料版として提供予定です。

報告時はWindowsの版、配布ファイル名、止まった手順、エラーを添えてください。

公式情報・参考リンク（2026-10-05確認）

[1] OpenAI : プラン・使用量

[2] LINE : アニメーション規格

[3] LINE : 審査・権利のガイドライン

基本画像づくり : 画像生成プロンプトメーカー